

第12回全日本高校模擬国連大会 書類選考課題

グローバル・クラスルーム日本委員会

以下の問1~4すべてに答えなさい。ただし、問1~3はチームで1つ答案を作成し、問4については生徒1人につき1つずつ答案を作成すること。なお、氏名や学校名などを解答欄内に書かないこと。

問1 (日本語で解答すること)

課題図書¹の第1章「地球の水の何が問題か」と終章「未来可能性の構築に向けて」を読んで、地球の水について最も重要な問題点は何か、その解決には何が必要なのか、筆者の意見をまとめなさい。(500字以内)

問2 (日本語で解答すること)

課題図書の第4章では気候変動と水問題の関係性について述べられており、特に水問題の解決において気候変動政策の「緩和策」と「適応策」がどのように適用されるかについて取り上げられています。現在気候変動政策は、「緩和策」と「適応策」と大きく2つに分類され、国連気候変動枠組み条約締約国会議などでは両者をいかにして適用するのかについて議論されてきました。

では、第3回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP3)以降のCOPで気候変動(水問題に限定しない)に対する「緩和策」と「適応策」についてどのような議論がなされてきたのでしょうか。必要に応じて課題図書以外の資料も調べ、具体的な政策も踏まえながらまとめなさい。(1000字以内)

¹ 沖大幹『水の未来 ―グローバルリスクと日本―』(岩波新書、2016)

問3 (日本語で解答すること)

課題図書では、全体を通じて持続可能性と水問題の関係について述べられています。2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)では、ゴール6で水と衛生のアクセスの確保が掲げられています。また水問題は第1章でも述べられていたように、ジェンダーや経済など多様な分野と関連しています。

そこで、SDGsのゴール3, 5, 8, 10, 12の中からゴールを一つ選び、そのゴールと水問題がどのように関係しているか説明し、そのゴールの達成も確保しながら水問題を解決するための具体的な政策を考え、論じなさい。ただし、どのゴールを選択したのか解答の冒頭で明示すること。また、提示する政策によって解決されるのは水問題のどのような側面であるか(地域を限定してもよい)、政策の実行主体などを具体的に想定して論じなさい。(1200字以内)

問4 (英語で解答すること)

国際会議では、自国の利益はもちろんのこと、隣国や友好的な関係にある国、世界全体のこととも考慮にいれて交渉することがあります。みなさんの生活のなかでも、自分のやりたいことを自由にできるわけではなく、家族や友人との関係を考慮にいれなければならないということがあるでしょう。では、友人や家族などの意見と自分の意見が対立した場合、どのようにすべきでしょうか。具体的に自分の体験を挙げながら、意見をまとめなさい。ただし、「模擬国連」での体験以外を具体例として挙げなさい。(250 words 以内)

【解答にあたっての注意】

- 書類選考課題の答えは、9月1日にグローバル・クラスルーム日本委員会のウェブサイト上で公開される全日本高校模擬国連大会の応募フォームに記入してください。
- その際、各設問の解答の末尾に「(〇〇字/words)」のように字数・語数を記入してください。字数・語数の表記自体は字数に含めません。
- また参考文献を記載する場合は、各設問の解答欄の末尾に記入してください。参考文献の表記は字数に含めません。なお、参考文献の書式および有無については任意とし、選考対象とはいたしません。

問題は以上です。不明点・質問がございましたら、gc[at]jmun.orgにご連絡ください。
([at]は@に変更してください)

頂いた質問は(個人情報を伏せた状態で)公開させていただく場合もございます。